

2004

おまえざき

市議会だより



市長杯グラウンドゴルフ大会



2004 みなと祭り



はまおか夏まつり納涼花火大会



だっくら祭り

第 2 号

(2004,7・8・9月)

平成16年10月発行
御前崎市議会

- 9月定例議会…………… 2
- 決算質疑…………… 3
- 市政に対する一般質問…………… 5
- 市内主要施設視察…………… 11
- 委員会報告…………… 12
- 特別委員会報告…………… 14
- 視察研修…………… 15
- 編集後記…………… 16

9月定例議会

{概要} 9月定例議会が9月6日より19日間の会期で開催されました。提出された平成15年度一般会計決算や平成16年度補正予算等34議案について審議されいずれも原案どおり可決されました。市政に対する質疑に3名、一般質問は12名が登壇して市長の見解を質しました。

平成15年度

浜岡町一般会計・特別会計歳入歳出決算総括表

(単位:円)

区 分	歳 入	歳 出	残 額
一 般 会 計	14,849,635,196	14,292,488,559	557,146,637
国民健康保険	1,716,257,378	1,600,179,687	116,077,691
老人保健	1,563,118,285	1,546,453,960	16,664,325
介護保険	1,047,511,083	991,831,575	55,679,508
介護保険サービス	380,519,584	340,690,881	39,828,703
農業集落排水	1,216,189,121	1,174,980,199	41,208,922
下水道	1,689,620,224	1,455,737,394	232,182,830
池新田財産区	106,283,398	102,620,389	3,663,009
池新田西財産区	17,868,883	13,894,150	3,974,733
佐倉財産区	6,728,558	5,025,051	1,703,507
比木財産区	5,616,684	5,074,137	542,547
新野財産区	622,003	409,145	212,858
合 計	22,599,970,397	21,529,385,127	1,068,885,270

平成16年度より介護保険サービスが病院事業へ移りました。

御前崎市総合保健福祉センター内の老人保健施設及び通所リハビリテーションは、当初、福祉施設という事で健康長寿課が担当しておりましたが、運営面で病院との関わりが大きく、この実情に合わせた方が効率的と考え、事業の運営・会計を病院へ移管した。
病院は介護事業課を新設して、同センター内全ての介護保険サービス事業を総括的に管理・運営している。

平成15年度

御前崎町一般会計・特別会計歳入歳出決算総括表

(単位:円)

区 分	歳 入	歳 出	残 額
一 般 会 計	4,437,909,203	4,405,824,948	32,084,255
国民健康保険	1,024,854,433	996,743,414	28,111,019
有線放送	32,835,993	31,202,024	1,633,969
老人保健	960,203,506	915,220,526	44,982,980
介護保険	415,507,947	383,868,096	31,639,851
合 計	6,871,311,082	6,732,859,008	138,452,074

決算質疑



3名が登壇 平成15年度決算を問う

揚張 正議員

福祉タクシー券

助成事業について

問 平成15年度浜岡町一般会計決算の中で、福祉タクシー券助成事業について平成14年度浜岡町9月定例議会において、利用状況の乱れの改善を指導していくとの報告がありました。改善はなされたか。又、全対象者に対する利用の割合はどの位か

答 平成15年度の浜岡町全体の対象者は3,875人のうち申請者は2,197人で56・7%です。一人当たりの平均使用枚数は11・6枚年間最高48枚なので25%約4分の1を使ったことになりました。15年度は合併のすり合わせ等があり、単年度に改善は行いませんでした。本年度は、均一した利用観点から、住所、氏名、生年月日、性別を印字し受給者証を1冊のチケット方式にまとめました。

問 月別の利用状況はどうなっているか

答

月	利用枚数	月	利用枚数
4月	2,400枚	10月	2,042枚
5月	2,323枚	11月	1,849枚
6月	2,488枚	12月	2,030枚
7月	2,318枚	1月	1,801枚
8月	2,153枚	2月	1,883枚
9月	2,048枚	3月	2,549枚
		計	25,584枚

以上のようになっています。昨年同様3月分が多くなっております。

公民館運営費

補助金について

問 各公民館の申請により、最高300万円の事業補助をすることになったが、申請方法は、また、浜岡地区、御前崎地区では、公民館の運営や活動内容が異なっているが、今後どのような方法を考えているか

答 4月以降実施した事業も含め事業費の3分の2を補助し300万円を限度とする。対象として、地域の課題に対する学習会、文化、教養、健康等に関する事業、青少年の健全育成、触れ合いを深めるイベント等が考えられる。申請手続きは、補助金要綱の中で決定をしたい。合併により浜岡方式に倣い、御前崎、白羽の6町内会を1館ごととし、2館体制で公民館運営協議会を発足し、運営方針、活動内容を審議して頂いている。今後、公民館長会議、関係方面の意見を十分にお聞きし、検討をしていきたい。

歳入の見通しについて

問 歳入面の見通しで国庫補助金や、地方交付税などの問題ですが、政府は財政の厳しい理由に、削減を図っておりますが、今後どのように変化していくのか

答 地方分権一括法が施行され、三位一体改革、地方財政改革の動きが考えられます。依存財源の国庫支出金、地方交付税について、さらに一般財源化が進むと考えられます。当市におきましても、改革の動きに注意し財政運営を進めたいと考えています。

充・流用について

問 決算書の充、流用が多いが教えていただきたい

答 流用として、予算では事務事業を執行するのに予算不足のため、執行科目の目と節に計上

されている経費を抑制して、その財源不足する科目に増額処理したものです。又予備費の充用理由は、予算編成当時予期しなかった予算外の支出が生じたことによるものです。御前崎町の予算流用が目立つのは、予算が事業別で構成されていることが主な理由です。

問 不納欠損金について

答 地方税法第15条の7（滞納処分の停止の要件等）及び第18条（地方税の消滅時効）をその根拠法令として執行しています。簡単に大きく分けますと①執行停止が3年間継続したとき②即時消滅となる時③5年間消滅時効に該当するときとなります。

以上のような事情、ケースがあります。町税全体の収入未済額では、浜岡町分3億85万円余、御前崎町分1億3、855万円余りで両町を合わせて3、245件（国保分含む）となっております。

原子力発電所

対策費について

問 原子力研修でどのような団体が何処に行っているか。印刷費などの使用内容は

答 町議会議員が青森県東通村、町内会長さんが横須賀のJNFFを初め11団体の研修視察です。印刷費は町民ダイアリーが6、000冊（各戸配布）ほか原子力クリアフォルダーを2、000部小学生に配布、原子力発電に関する知識の普及啓発を図っています。その他、一般事務印刷費です。国からの広報安全等対策交付金を充当しています。

問 河川、県道清掃作業について

答 清掃作業につきましましては、ボランティア的作業が多いというところで、市といたしましては強制をして作業を行っていただいております。危険な所は無理しないよう地区で判断をしていただきたいと思います。尚、自分達の地

域は自分達できれいにしようという考えで、河川美化とか道路美化につながっていくものと思います。ある地域では、大変積極的に取り組んでいくくれる町内会もあります。今後ともご協力をお願いします。

都市計画基礎調査について

問 池新田用途地域の土地利用は計画通り行われているか。又、御前崎地区では、用途地域が設定されていないが今後どんな対応をしていくのか

答 池新田浄化センター、町民プール、長者坪土地区画整備事業、町営住宅の整備、公共下水道、街路整備等は順調にまちづくり事業として推進していると思う。御前崎地区は今後総合計画を作成する中で、各種計画と整合性を図りながら検討して参りたい。

一般質問



- 開かれた市政の実現
- 対話のあるまちづくり
 - ・住民本位の地方自治を確立
 - ・地元産業の育成と雇用の拡大
 - ・人づくり教育
 - ・医療福祉の充実
 - ・安心で安全なまちづくり
 - ・観光の振興

12名が登壇・市政を問う

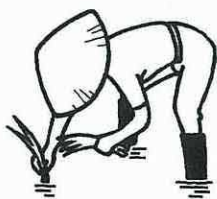
後藤 憲志 議員

遊休農地解消、

新規就農者への方策について

問 遊休農地解消、新規就農者への方策について

答 市内の農地に、遊休、荒地が目立ってきており、特に海岸線沿いの砂地で多く見受けられます。景観上からも遊休地を解消し、有効利用を進めることが極めて重要な課題であると考えます。今後とも遊休地の解消に向けて農協が母体となって取り組んでいる事業や、市が推進している各事業などを有効的に活用して面的集積が図れる体制を確立して参りたいと考えております。新規就農者への対応については、地域農業者を守るためには、新規就農の確保が重要



な課題であると考えます。従来からJA夢咲農協で実施している「職業紹介所事業」も積極的に活用し、新規就農者の確保に努めて参りたいと考えております。

問 御前崎市の消防、防災について

答 旧御前崎の消火栓と屋外ホース格納箱の配置状況並びに市内の消火栓設置に関する質問であります。旧御前崎町には、消火栓214箇所、格納箱46箇所が設置されており、この地区への格納箱の増設については、自主防炎会への事業で対応することとしております。消火栓の設置につきましては、今後共、道路沿線の建物の状況、配管の能力などを考慮しながら、各担当部署と調整、協議の上、適正配置に努めて参ります。

原発の問題

問 原発における「アルカリ骨材反応試験」のデータは有害と認定されていたが偽造したという内部告発に対する行政としての事実確認や対処方法は

答 中部電力よりの報告では調査の結果規制値を下回っていた。又、建設から10年以上たっているが有害なひび割れはない。又、国は事実関係の聞き取りと必要なデータの収集を行い、健全性について確認を得た。市としてはその結論を待つて対応を図る。



幼児教育

問 幼児保育の発足にあたっては地域・保護者・現場で働く人たちの意見を十分聞いて進めるべきだ。佐倉幼稚園は今後の御前崎市の幼児教育の方向を大きくかえるもので、開園にあたり御前崎市の8幼稚園と4保育園それぞれのありべき目的を十分理解したうえで、具体的な方針・展望を施策として持つべきでは

答 幼稚園と保育所は所管官庁が違い、即「幼保一元化」で運営することは困難である。

新市発足にあたって幼児教育推進の指針を「各地域の特性を生かし、各施設が特色ある保育・教育を目指す」としているのが、地域と結びついた、より質の高い幼児教育を推進したいと考えている。

農業法人化と

基盤整備推進について

問 農地を保全し、農業を存続させる為には、農業法人化が必要であります。法人化の為の手続き、手法等研究する協議会を設置すべきと考えます。又、茶園の基盤整備を計画的に進めることが必要でその体制づくりが急務と考えますが、いかがですか

答 農業後継者が減少する中、農業を効率的かつ安定的な経営を図ることが必要でありその為には法人化することが有効な手段の一つであると考えます。市には現在「経営生産対策推進会議」が組織されており、この組織を活用することにより、法人化に向けての手続き、手法等の研究を進めて参りたいと考えております。また、基盤整備につきま

しては、当面は農地の利用調整を推進して、茶園の集積（貸し借り）を図って参りたいと考えております。

観光拠点づくりと、

地場産品の活用について

問 遊客対策をどう進めるのか又、地場産品の活用が産業振興の上必要と思いが

答 観光資源を今一度見直すと共に観光拠点となる施設の再整備やそのネットワーク化を図りながら、新たな観光ルートづくりなどに早急に取り組んでいかなければならないと考えております。観光振興を図る上で、地場産品を積極的に活用することも極めて重要でありますので、地場産品を扱っている施設の整備、充実や施設間の連携を推進して参ります。

松林の保全について

問 今年の松喰い虫による被害状況はどうか

答 市内の松枯れによって伐採した量は、平成13年度は800㎡、4、900㎡、平成14年度は1、400㎡、9、700㎡、平成15年度は、1、700㎡、13、000㎡と年々増加している。今年も昨年以上の被害が発生していると推測される。

問 燻蒸処理後の伐倒材の放置が多くなっているが、二次的な被害が起きているのでは

答 被害木の処理は、破碎と燻蒸の2種類の方法で行っている。伐倒して持ち出せない箇所では、その場で松喰い虫を駆除する燻蒸処理で対応しているが、その場に集積して

置くため、腐植化が進み、カビや細菌、虫類が増殖し、土地の肥沃化で雑草や雑木が生い茂り松の樹勢を弱めていることは考えられる。

問 現在の駆除方法では、手詰まりではないか 新たな方策は また、補正予算を組み徹底してやる気は

答 今年2千万円余りの事業費をかけて、駆除を行っているが、この状態であり特効薬は見当たらないのが現状である。土壌の管理や下草刈、間伐等の林床整備をし、行政と関係者が一体になり新たな対策について研究を進めていく必要があると考えている。又、その為の補正予算も検討しながら対処していきたい。



市の観光について

問 御前崎サンホテルの閉館が新聞にて発表され、御前崎の観光に与える影響は非常に大きい。3年後には、静岡空港が開港、商工会では伊豆と結ぶ定期高速海上航路研究等一層の観光発展に努めている中、観光協会長でもあります市長の考えをお聞きしたい

答 長引く不況と観光志向の多様化などで、御前崎サンホテルが閉館することは大変残念です。協会としては、観光業者と連携してマリンスポーツ大会の誘致、各種イベントの開催、宣伝活動、観光施設の充実や、体験型の観光を含む自然ガイドの育成に努め、新たな観光地としての魅力を高めたい。

国道150号

整備について

問 国道150号で新野川西側より西方向の4車線化が始まる様子がないが、一番混み合う道路なので、早期完成を期待している。大東町の境から病院入り口の信号機まで4車線化されればと市民は思っている。市の事情でもあるのか 市長にお伺いします

答 切迫した県財政のありを受け、毎年割り当てられる予算が、期待を大きく下回るものとなっていましたが、本年度新たに制度化された「合併支援重点道路整備事業」によりこの問題も大きく前進するのではないかと考えている。国道150号は、本地域には最重要道路でありますので、今後とも国や県に対して強力に働きかけていく。

公共施設の活用について

問 6月定例議会で「公共施設等活用検討委員会（仮称）を立ち上げて市役所の業務内容も含めて有効活用を図るよう検討していく」との答弁がありました。が、これまでの検討委員会の経過報告と今後の予定をお聞かせください。

答 公共施設の活用につきましては、7月に「公共施設のあり方検討会」を立ち上げ、検討を進めております。御前崎支所につきましては、教育や福祉など市役所の機能の一部を担う施設として議論を重ね、10月末までに市の考えを示したいと考えています。保健センターやふれあい福祉センター等の施設につきましては、有効活用出来るように議論を進め、当初予算に反映できるように努めて参ります。

市立病院の方向性と改革について

問 広報「はまかせ」の中で市長は「病院の内容もしっかりと充実させ改革を進める」と言っておりましたが、今後どのような方向性で、どのような改革をしていけるか

答 病院のあり方につきましては、地域における病院の役割、機能等を院内ワーキンググループなどで検討を行い、地域医療と地域福祉サービスの向上を図って参ります。さらには、これまでに増して病院と開業医との連携を密にして、患者さんの立場に立った医療が出来るよう、また、近隣病院との連携も視野に入れながら、病院事業の改善と見直しに取り組み、真に市民に信頼され、愛される病院となるよう努力して参ります。

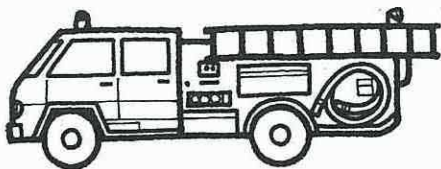
市町村合併に伴う

消防体制について

設置を計画検討する考えはないか。また、合併に伴い消防団の縮小が懸念されるが

問 合併特例法期限内に向けて、消防署体制の広域再編に関する検討準備を図っていると聞いていますが、「消防力の基準と現有消防力の比較表」を見ると、平成15年消防年報では、現在の常設消防防災体制基準等では人員137名のところ、現有人員63名で大変小規模である。御前崎には重要港湾があり、国内外を問わず多くの船舶が往来し、物流の拠点である湾内での災害等への対応と管内には牧之原ICを配し、東名高速道路の事故災害への対応も重要な任務とされている現状の中、基準人員の80%位は確保されたい。この際、消防活動だけではなく、救急救護の到達時間の短縮を含めて、市内に支署又は分署の

答 広域再編については、「管轄人口が概ね10万人以上となることが基準」とされている。消防署体制は、市内の消防団413名と連携を密にし消防活動に取り組んでいるので、引き続きこの体制を充実させ対応したい。今後広域再編については、施設や人員の適正配置により充実、二次災害に備えた補充体制が可能により、高度な消防体制を提供したい。支署、分署についても広域再編の検討時に進めたい。



市立病院について

問 病院の経営について、病院院長に答弁を求めます。

病院再生のためにどのような政策を講じてきたのか、また経営者として、御前崎総合病院が地方病院として、どのような病院になっていくのが良いのかお聞かせください

答 初めに、病院の立て直しの打開策についてであります。第一に、現在派遣を受けている浜松医大、横浜医大、自治医大などの医局の教授と友好関係を保ち、現在の常勤医師数を減少させない、出来れば増やす方向に努力すること、第二に必ずしも大学の医局だけに頼らずにあらゆる方向から考えられる正当な手段を駆使して広く医師を募集することであると思います。医師の獲得を容易にする為に科

案内標示板について

問 御前崎地区は、至る所に案内標識があるが、浜岡地区は分かりにくいとの声を聞く。市外から来た人達にも、名所、旧跡へ気軽に立ち寄ってもらえる標示板を設置する考えは

答 旧御前崎町は観光基本構想の中、サイン計画が提案され平成元年に県の観光施設事業として設置された。浜岡地区は、国道150号や幹線道路などに設置されているが、全体的に少なく、名所、旧跡が分かりにくいとの声も耳にしている。現在、観光資源の発掘等の調査も実施しているが、看板の統一化についての意見も頂いているのでこれらを参考にしながら整備充実をしていきたい。

問 市の木、市の花を広く内外に知ってもらう為に街路樹や自然を生かした名所にするつもりは

答 市の木、市の花については、観光施設や街路整備などを展開する中で、市のシンボルとして、積極的に活用していきたいと考えている。



延長保育について

問 希望者には預かり保育を行う必要性は高く、早急に検討すべきと思いますが

答 市におきましても、市民のニーズを把握しつつ「幼稚園における子育て支援の充実」の一つとして「預かり保育」の導入を検討したいと考えております。

佐倉幼稚園について

問 佐倉幼稚園のコンセプトは何か 職員配置、カリキュラム、給食費についてどのように実施していくのか

答 それぞれの特色や特性を生かして、幼保の連携を推進します。職員の配置は現状のまま運営は各園長が中心となつて、カリキュラムについては、主任を中心に検討を進

地震に対する

初動態勢について

問 東海沖地震が心配されている中で、9月5日夜発生した地震で市民は東海沖地震の前兆かと直感されたと思われませんが、地震発生時の初動態勢で防潮扉の対応はどのようにしたのか また、注意報と警戒宣言の違いについて伺います

答 市の「災害時等の配備体制とその基準」に基づき情報収集体制を執るとともに、海面監視員として2名の職員を港に出動させた。陸こうを閉じる場合は、大規模地震対策特別措置法により警戒宣言が発令した場合などに限定されている。今回は注意報であったため、陸こうの閉鎖は行わなかった。

自主防災訓練について

問 自主防災組織の訓練で各地域の地形条件により訓練内容が違うことがあります。マンネリ化しているのでは

答 自主防災組織に対する行政指導により、各地域住民が的確に行動することで、災害を最小限に止めることが重要です。また、自主防災会に対して、県主催の指導員研修会への参加、市の防災訓練や防災無線、ろ過機の扱いなど研修し自主防災組織の強化、充実に努めている。

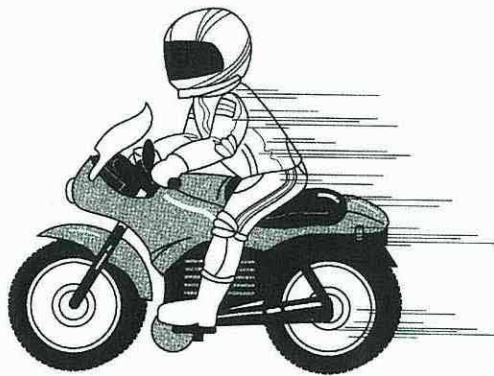


防災無線

問 地震などの自然災害や火事などの人為的災害は人命にかかわる危機であります。阪神での大災害時にアマチュア無線やバイクレスキュー隊等のボランティアの活躍は目覚ましいものがありました。当市でも採用し市役所に基地局を設置する考えはないか

答 御前崎市における災害時のボランティアとしてましては、バイクレスキューネットワークが社会福祉協議会に登録されております。災害ボランティア講座にも多数の参加者があり、関心の高さが感じられます。佐倉二区自主防災会でアマチュア無線クラブによる通信訓練が行われましたが、こうした市民の自主的活動には市としても大いに期待しております。特に災害時に

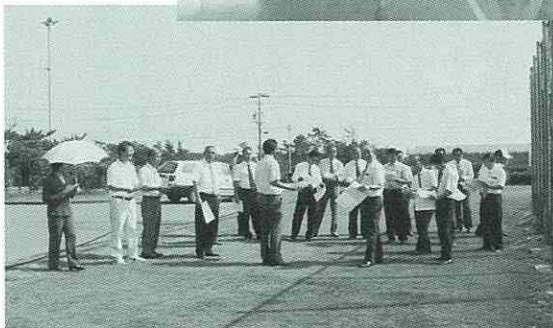
おける初動体制はお年寄りを初め身体生命をなによりも優先させ救助しなければならぬと思いますので必要な支援を行ってまいります。



議員市内主要施設の視察

7月14日

- ・市立図書館（アスパル）
- ・ケーブルテレビ局舎
- ・総合保健福祉センター
- ・浜岡福祉会館
- ・浜岡総合運動場
- ・あらさわふる里公園
- ・御前崎市民プール
- ・海鮮なぶら市場
- ・観光物産会館（なぶら館）
- ・B&G海洋センター
- ・灯光園
- ・御前崎支所・文化会館
- ・保健センター（なごみ）
- ・御前崎総合運動場





委員会報告

委員会で審議された中で、特に質疑の集中したものをピックアップしました。

総務経済 委員会

問 総務管理費の内オフィスコンピュータ借り上げ料とは

答 職員1人1台ずつパソコンを使用しているが、その借り上げ料である。

問 住民基本台帳カードの発行状況はどうなっているか

答 30件程度で、一般市民が利用するには程遠い制度と理解している。

問 ふるさとバス運行管理委託料について

答 ふるさと創生基金で32人乗りのバスを購入したが運営管理については第3セクターの御前崎物流に年300万円を委託している。公用車として町の行事、各種団体に利用している。

問 風力発電事業は当初計画と比べ実績は上がっているか

答 平成15年度の稼働率は、計画を上回っている。これが続けば償還も予定より早く済むと思われる。

問 各補助金の会計報告はどうなっているか、又交付した補助金に不用額が生じたときの処理はどうしているか

答 年度末に実績報告書を提出してもらっている。残金は繰り越されることになるが、繰越額によっては翌年度の補助金を減額する等の措置をとるようにしたい。

問 町観光協会補助金の内訳は

答 浜岡夏祭りの経費798万円、観光モニュメント管理費、砂丘コネクション、フォトコンテスト、地場産品のPR経費等である。

問 物件補償の基準はあるか

答 県の補償基準に基づいている。

問 海と風のフェスティバルの経緯とその効果は

答 平成6年に歌と踊りを創作して地域の交流イベントとして定着してきた。現在は県のダンスフェスティバルとして15市町の参加もあった。昨年は14万人の来場者もあり、御前崎だけでなく浜岡の産物も入れていきたい。



問 土木費関係で用地補償費の算定基準が御前崎と浜岡で異なっていたがどのような調整をしたか

答 今年度からは固定資産の評価額に応じて補償額を決めるようにした。若干ではあるが用地交渉を進めやすくなった。

文教厚生 委員会

問 相良町外2町広域施設組合負担金が4億728万円と高額だが、何に使われたのか又ゴミが減れば負担金も減ると考えてよいか

答 ゴミが減れば委託料も安くなるので、負担金も減ると考える。



問 同報無線の保守点検委託料670万円余、調査委託料が504万円と高額だが今後も継続するのか

答 保守点検委託料は例年と同額であるが、調査委託料は合併

に伴い同報無線を統一するものである。今後もデジタル化に向け予算措置をお願いしていくことになる。

問 高額療養費で1千万円以上の支給があったか

答 浜岡では1千万円以上はなく800万円以上が1件あった。御前崎では1千万円以上は2件、600万円以上が1件あった。

問 学校給食における大量残食の原因はなにか

答 中学校が県平均を大きく上回っている。生徒の偏食、ダイエット志向等が考えられる。栄養士とも相談し工夫しているが今後も対策をとっていく。



問 保育所借地料の単価は

答 御前崎保育園がm当たり440円、白羽保育園が425円である。

問 御前崎保育園は定員120名のところ95名で定員割れしているが今後の見通しは

答 横ばい状態が続いているが今後これを下回ることはない。

問 ブラジル人児童への日本語指導について詳しく知りたい

答 第一小、東小、白羽小にそれぞれブラジル人児童がいる。週1回3小学校を訪問して学校からのお便りを通訳したりして、学校、ブラジル人保護者の双方から大変喜ばれている。

問 教育総務費の中で社会科副読本作成業務委託料とは

答 小学校3、4年生と教職員全員に配布する。1,000部は本年度分という考えである。来年度以降改訂していくことになる。

問 下水道で宅内配管の接続状況は

答 平成16年4月現在、池新田地区50・1%、高松地区66・5%、桜ヶ池地区88・7%である。平均では57・6%

問 乳房X線撮影装置の読み取りは外部委託しているのか

答 ドクターネットに委託している。読み取りには資格者が必要であり、県下でも数が少なく現在外科で2名が資格取得を目指している。

問 高額な医療機器の購入方法については

答 各科からの申請により病院内の機器選定委員会に諮り、予算の枠内で購入している。さらに高額なものについては医師、技師、看護師で検討委員会を開催し機器を選定した中で入札し購入している。

総合開発計画 策定特別委員会

平成16年9月21日9時より「企業立地」「工場誘致」又、「現状と今後の課題」、そして総合開発計画策定については「旧町の第3次総合計画書にかかる継続事業・見直し事業・完了事業」の報告と、「電源三法交付金事業の見直し」について協議致しました。

協議事項の中で主だったものは、御前崎港の利活用について、清水港のコンテナターミナルを視察し「運客方法」「航路設定」「進出企業の状況」等の勉強又御前崎市における進出企業への候補地の研究をすること。総合計画の実施計画書にあるものは地区と全市にかかるものとを区分した中で、地区のものについては実施に当たって地域の声を聞いた中ですり合わせをしっかりと、「継続」「中止」「延期（年度をずらす）」をそれぞれの地区で見直し検討をしていく。

全市にかかるものは合併を機会に総合計画の個々の中身について整合性が取れるように策定していく等の協議が行われました。

原子力対策 特別委員会

●核燃料サイクルについての講演

経済産業省・資源エネルギー庁
大臣官房参事官原子力立地担当 野口哲男氏

●浜岡原子力発電所視察

(1)減肉管理の状況について

作業服（青服）に着替えて、浜岡2号機タービン建屋、廃棄物減容処理建屋を視察

現場にて、

- ・ 減肉の発生しやすい部位や測定ポイント、測定方法について説明を受ける
- ・ 超音波による測定デモンストレーションを実施

(2)浜岡4号機のコンクリートについて

改ざんが行われたと言われた骨材を使用して、いる浜岡4号機タービン建屋を視察 現場にて、アルカリ骨材反応がないこと、コンクリートの強度をシュミットハンマーを用いて確認

(3)アルカリ骨材反応性試験について説明を受ける



議員視察研修

(9月27日～29日)

原子力発電所の安全性・地域との共生

玄海原子力発電所(佐賀県玄海町)
新小倉発電所(北九州市)

平成15年9月27日から29日までの3日間で、九州地方の電力エネルギーの研修視察に行きました。研修先は小倉火力発電所と玄海原子力発電所の二施設です。

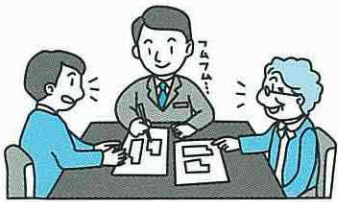
九州電力の企業理念は「ヒューマンな九州を創る企業体」を制定し人と地球環境にやさしい企業活動を展開しています。

小倉火力発電所の概要は、発電施設が五基、出力合計211万kw。燃料としてLNG(液化天然ガス)を使用し北九州地方を主に電力供給を行っています。蒸気温度が500度以上と高温のため施設内は40度以上になることもめずらしくないところで、大変暑かったです。

又、玄海発電所の概要につきましては発電施設が四基、出力合計347万kw。原子炉の型式はPWR(加圧水型)で昭和

50年より運転されています。九州新幹線の開通により九州全域の交通網も整備されました。九州地方の原子力発電所には鹿児島県の川内(せんだい)にあり南北の電力需要にこたえています。

何重もの安全対策で安全確保に努めているのはもちろんですが、特に地域との共生については日常の対話活動、ボランティア活動、スポーツ活動、廃熱を利用した温室はさつまいもの芽出しやトマトの温室栽培など九州電力社員と地域の皆さんとの関わりを大切にしていくそうです。今回の研修は大変勉強になりました。



議会の動き

7月

1日 振興公社評議員会

2日 御前崎海水浴場開場式

2日 静岡県原子力発電所環境安全協議会

6日 御前崎小学校 御前崎グラウンド安全祈願祭

原子力発電所安全等対策協議会 総会

御前崎市交通安全総会

7日 自立経営農業振興会総会

12日 議会臨時会 議会運営委員会

CATV番組審議会

市章選考会

14日 御前崎市相良町学校組合議会

市議会議員市内主要施設視察

16日 中電5号機試験運転視察

20日 御前崎市青少年健全育成会議

鳥取県船岡町議会視察来庁

21日 御前崎・奥大井連絡道期成同盟会総会

社会福祉協議会理事會

議会全員協議会

22日 静岡県市議会議員研修会

23日 牧之原畑整備推進協議会

26日 埼玉県白岡町議会視察来庁

日みどりの少年団育成会

市章選考委員会

27日 民生委員推薦会

日CATV工事起工式

御前崎港整備促進期成同盟会

30日 御前崎港振興会総会

御前崎・白羽公民館運営審議会

30日 掛川浜岡御前崎ハイパス建設促進期成同盟会現地踏査

御前崎 白羽公民館運営審議会

8月

1日 御前崎港まつり

2日 福島県小高町議会視察来庁

4日 図書館協議会

県議会総務委員会来庁

7日 くさびえ夏の祭典

浜岡納涼花火大会

10日 小笠掛川振興協議会総会

12日 東遠学園組合議会

17日 浜岡原発安全等対策協議会

18日 小笠老人ホーム施設組合議会

20日 議会全員協議会

23日 経営・生産対策推進会議

25日 東遠広域施設組合議会

26日 東遠定住圏施設組合議会

30日 大井川右岸土地改良区理事会

31日 中東遠4市議会止副議長会

大井川右岸土地改良区臨時理事会

奨学生候補者選考委員会

原子力1市3町議員研究会

9月

1日 総合防災訓練

議会運営委員会

3日 民生委員推薦会

6日 9月議会定例会

7日 議会全員協議会

9日 静岡県原環境安全協議会

つばさの家運営委員会

10日 水産委員会

13日 議会だより編集委員会

14日 文教厚生委員会

16日 総務経済委員会

17日 議会全員協議会

20日 老人福祉大会

21日 総合開発計画策定特別委員会

24日 原子力対策特別委員会

26日 議会全員協議会 議会運営委員会

29日 議会だより編集委員会

30日 海と風のフェスティバル

31日 議会全員研修視察

相寿園管理組合議会



ウミガメの放流

(平成16年7月7日 撮影)

アカウミガメ保護活動は、昭和47年に保護監視員を設置し、保護活動に取り組んできました。昭和55年に国の天然記念物に指定され、現在は、5名のウミガメ保護監視員が上陸期間中、海岸を巡視し保護活動を行っています。

平成16年の状況（9月末日現在）は、上陸頭数は192頭、内産卵頭数は95頭、産卵個数は10,606個、ふ化頭数は5,232頭です。

ウミガメが安心して上陸・産卵できるように産卵シーズン前、御前崎小学校や御前崎中学校、市内の各種団体が海岸を清掃しております。また、近年、海岸の侵食に伴い、ボランティアを募り砂防工法の堆砂垣を行っています。

御前崎小学校では、カメラリーダーを中心に5年生全員でアカウミガメを飼育し毎年7月に放流しています。



編集委員会

若杉泰彦	副委員長	西島昌和	委員長	片渕一孝	大澤満	岩瀬初代	増田雅伸
------	------	------	-----	------	-----	------	------

- ◎新市が誕生して、早6ヵ月経過しました。本予算も執行され「御前崎市」としての総合開発計画によるまちづくりが新たにスタートしております。
 - ◎将来に向かって夢と希望をもつてすばらしいまちづくり、地域づくりに期待したいです。市民の皆さんの声を届けて下さい。
 - ◎今回は行事日程が多く、掲載できない行事は次号にて御報告致します。
 - ◎議会だよりも、市民の皆様親しみ、理解できるよう情報提供に努めてまいります。
- (K・K)

編集後記